

Newsletter

No.24(2010.3.5 発行)

JAICOWS 総会のお知らせ

下記の要領で JAICOWS 総会と講演会を開催します。多数の皆様のお集りをお待ちしています。今回は事業仕分けで話題になった国立女性教育会館で開催します。宿泊もできますので、是非一度御来館ください。

JAICOWS 会長 原ひろ子

日 時	2010年3月26日(金)	13:00 ~ 14:00	役員会
		14:00 ~ 15:00	総会
		15:00 ~ 18:00	講演会
		18:00 ~ 19:00	懇親会・夕食(食堂:酒類可)

場 所 : 独立行政法人 国立女性教育会館
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地
TEL: 0493-62-6711 (代表)
E-Mail: webmaster@nwec.jp

総会議事

1. 09年度事業報告
2. 09年度会計報告
3. 10年度事業計画
4. 10年度予算
5. その他

講演会

「若手研究者の育成(理系・文系を含めて)をめぐる期待と課題」
都河明子先生(東京大学男女共同参画オフィス)
「女性科学研究者の育成の課題:生理学会を中心にして」
水村和枝先生(名古屋大学環境医学研究所)

出欠の有無・委任状を同封のはがきで3月18日までにご返送ください。

なお、宿泊費用は2000円~3000円、食事は700円~1000円、カフェテリア方式です。宿泊の際は、洗面具、石鹸、タオル、寝巻、常備薬等をお持ちください(浴衣、バスタオルは貸出可、洗面具等は売っているとのこと)。

宿泊される方は、岩井宜子先生あて下記にご連絡ください。

E-mail: yos-iwai@nifty.com TEL・FAX: 042-788-5283

JAICOWS 役員会報告

- 日 時 2009年12月28日(月) 18:00~20:00
- 場 所 専修大学8号館5階5A会議室
- 出席役員 岩井宜子、国枝たか子、田原淳子、直井道子、西川朱實、長野ひろ子、原ひろ子(50音順)
- 議 事 主としてニューズレターと役員会・総会について話し合われたので、詳細はそれに譲ります。来る3月の総会は事業仕分けで話題になったこともあり、また希望する方は宿泊もできることから遠方の方もおいでになりやすいということで、独立行政法人 国立女性教育会館で行うことになりました。

政府への要望書の提出

平成21年11月26日、鳩山総理は総理大臣官邸で開催された男女共同参画会議において、冒頭の挨拶で「今回の会議は、鳩山内閣発足後初の開催となります。友愛社会を実現したいと申し上げておりますが、友愛社会という意味においては男女共同参画社会になることが前提であると思っております。まだまだ道半ばというのが現実の姿だと感じております。今日お集まりいただきました議員の皆様方が、それぞれの気持ちをしっかりと新しい政権に対して意見を述べていただき、真の男女共同参画社会を実現して欲しい。」と述べました。

そこで、早速に原ひろ子を含む呼びかけ人代表及び約170人の呼びかけ人として、以下のような要望書を作成し、平成21年12月3日に川端文部科学大臣に、12月14日に鳩山総理大臣に提出しました。(11月29日からの運動でしたが、科学研究者を含む各分野から約3000人の賛同者が集まりました。)

要 望 書

鳩山由紀夫 内閣総理大臣 様
川端 達夫 文部科学大臣 様

男女共同参画社会実現に向けた要望書

鳩山政権が成立して3カ月が経ちました。この間の透明性を求めた国民に見える政治への転換、改革に向けた大胆な取り組みに心から敬意を表します。また、先般開催されました男女共同参画会議における首相の「男女共同参画社会は、友愛社会の前提である」という発言に私たち女性たちは勇気づけられました。男女共同参画社会の実現は、民主党がめざす「コンクリートから人へ」というビジョンにとっても重要な課題であると考えます。

しかしながら、先般の事業仕分けにおいて男女共同参画に付随する重要施策が対象となり、男女共同参画政策の今後の展開や推進に支障をきたすものとして危惧しています。

つきましては、今後、新政権において男女共同参画基本計画が大きく前進することを期待し、以下の政策が実現されることを強く要望いたします。

1. 男女共同参画推進本部の機能強化と充実 【この部分は鳩山総理にのみ要望】

この間、「男女共同参画社会基本法」や「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律（DV防止法）」の制定、全国各地における男女共同参画の取り組みなど、男女共同参画政策は一定程度進みました。しかしながら、国際的に見ると、ジェンダーギャップ指数においては世界で98位（世界経済フォーラム）が示すように、日本の女性の経済的・社会的地位は極めて低いと言わざるをえません。

この状況を改善していくために、最優先課題として、総理が本部長をする男女共同参画推進本部の機能の強化と充実をはかり、全省庁すべてにおいて、男女共同参画の視点をもった政策が推進されることを要望します。

2. 第三次男女共同参画基本計画の改定においては、全国各地の草の根の女性たちの声を反映していくために、計画策定に向けての恒常的な協議の場を設置することを要望します。

【この部分は鳩山総理にのみ要望】

3. 「独立行政法人国立女性教育会館（NWEC）」の質的転換と事業拡充 【鳩山総理・川端大臣に要望】

「独立行政法人女性教育会館（NWEC）」は、男女共同参画に貢献する人づくりや女性たちの全国およびアジアのネットワークの拡大に大きな役割を果たしてきました。その結果、NWECで力をつけたリーダーたちが、今なお各市町村で活躍しています。

NWECの果たす役割は、民主党がめざす「コンクリートから人へ」のビジョンと合致するものであり、NWECの活動は今後ますます必要とされるものです。

私たちは内外の女性団体や草の根の地域グループとともに、NWECが時代の先取りをした魅力ある事業を展開していくよう連携協働していきます。そのため、予算の大幅な削減ではなく、NWECの活動を充実・発展させていくことが総理のめざす「きずな社会」の形成にとって極めて重要だと考えます。

4. 女性研究者の支援 【鳩山総理・川端大臣に要望】

我が国の女性参画の現状をみると、「民間企業における課長相当職」「国家公民の管理職」「各種団体における役員」など「実際に意思決定において指導的地位に立つ管理的職業従事者」において特に女性の進出が遅れています。また、医師、研究者といった専門職分野においても女性の割合が低く「女性の参画加速プログラム」でも女性研究者の支援は重要な施策の一つとして位置付けられています。それにも関わらず、今回の事業仕分けにおいて削減の対象となったことは、男女共同参画社会の推進に逆行するものです。

女性比率が30%以上である欧米諸国では、長期的に女性研究者育成策を実施しています。科学技術分野の人材獲得は、国際的競争下にあり、このままでは、日本は世界の潮流から取り残されることになります。

また、女性研究者が働きやすい環境は、男性研究者が働きやすい環境でもあり、このことは研究職を魅力あるものにするとともに、研究活動を効果的に実施することにもつながります。

我が国の発展のために、女性研究者支援策を引き続き充実させていくことを強く要望します。

科学・高等教育の予算充実のための懇談会ご報告

科学・高等教育の予算充実のための懇談会（日本共産党国会議員団と国内の研究者との会合）が12月22日16時～18時に開かれ、原ひろ子先生ほかに参加し、以下の文書を配布しました。

1. 「女性研究者支援システム改革」の縮減なき継続、拡充に関する要望書（鳩山総理大臣、川端文部科学大臣宛）
2. 平成21年11月11日、第4期科学技術基本計画及び男女共同参画基本計画(第3次)への提言—その1「科学技術分野での男女共同参画の推進に向けての要望提言」 科学技術系学協会（=男女共同学協会連絡会有志学会）

3. 平成 21 年 11 月 11 日、第 4 期科学技術基本計画及び男女共同参画基本計画(第 3 次)への提言—その 2
「ポストドク等任期付職のライフイベント及び将来設計支援に関する要望提言」 科学技術系学協会 (= 男女共同学協会連絡会有志学会)

散会后、原先生は「男女共同参画学協会連絡会 第 2 回大規模アンケート報告書」1 冊などを日本共産党衆議院議員宮本岳志氏に渡して、行政刷新会議 WG「事業仕分け」評価結果(科学技術関係)などを入手していただきました。以下その時の模様のご報告です。

1. 日本共産党衆議院議員 宮本岳志の主旨説明

「競争的資金(女性研究者支援)科学技術振興調整費(女性研究者支援システム改革)」が 3 分の 1 程度の削減になるのは「女性のみを対象とするのは逆差別」というけしからぬ理由がついていた、と紹介。

2. 参加者からの発言

・天文台の若手研究者

国立天文台ハワイ観測所出張中に事業仕分けのことを知り、帰国後、今も憂慮している。

・JAICOWS 原ひろ子

まず、JAICOWS の説明、次に大坪久子さんからことづかった男女共同参画学協会連絡会関連の資料の紹介、最後に原ひろ子の見解説明が行われた。すなわち、女性研究者支援のプロジェクトを実施している大学・研究機関の中には、男性教職員のワークライフバランスに関しても、真剣に考えるようになってきている例もある。このプロジェクトは、学術研究の場における真の男女共同参画推進の重要なきっかけを作り始めている。

・学研労協の方

事業仕分けの作業は一方通行で単純な大鉦である。

・日本科学者会議 石渡真理子さん

若手研究者は、派遣労働者化している。

・京大 D1 アサハラさん

GCOE の縮小は DC208 名に影響する。

・サイコム 横山雅俊さん

ポストドクなどの生活保障が重要、アカハラ、パワハラなどで能力を無駄にした人は多い。研究者採用の年齢制限を除去すべきだ(学位を取得して応募しようとする、既に年齢制限に直面するのは不当)。

・全国大学院生協議会(女)

事業仕分けに関する院生の憤懣・失望を訴えた。

・国立大学附置全国共同利用研究所・研究センター協議会の松沢哲郎会長(京都大学霊長類研究所長)の代理 東大宇宙線研究所 鈴木洋一郎所長

科学技術立国として何を考えているのか? 文部科学省に 14 万件のパブコメが届いたという事実を、政権担当者は、どう受け止めているのか? 1)

1) 参考 国立大学附置全国共同利用研究所・研究センター協議会提言「大学等における研究と教育は「未来への投資」であり、大学法人の壁を越えた大学間の連携と研究拠点の育成が、わが国固有の学問の発展に寄与する」

2009 年 12 月 1 日 (<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/contents/week/news/seimei091201.pdf>)

- ・日本私立大教職員組合連合書記長 早稲田大学の杉本さん
私大助成に関しては、事業仕分けの項目に入っていない。しかし、国立大との格差は固定化している。1975年の私立学校振興助成法成立の際の付帯決議では、私大の助成は、国立大の2分の1となっていたが、2008年には10.9%となっている（配布の資料に基づき説明）。
- ・日本私立大教職員組合連合の職員
不幸にも事業仕分けの対象とならず、横串で削減されるのだ。
平成22年度予算編成の主な個別論点（文教政策）として財務省は、「学生数が伸びない中で、私学助成が増加しているのは如何なものか」と言っている。大学生数は1981年をピークに、それ以降減少しているが、私大の学生数は、国公立大に比し相対的に増大してきているのだ。金額そのものは増えているが、相対的に私大の位置づけは適当と言えない（配布資料⑩参照）。
- ・国立宮崎大学副学長（学長の代理で参加しているが、個人的な意見を述べた）
地方大学は運営交付金の1%減で附属病院の運営など、大きな打撃を受けてきており、特別教育研究費でやりくりしてきた。教員には科研費の応募を奨励し、国際的に優れCOE・GCOEにつながった研究の例もある。しかし、教員は書類作りに忙しく、全体として研究論文の質も量も低下している。このたび、特別教育研究費が事業仕分けの対象となり、宮崎大学は60ポストと、多くの研究者を非常職員として抱えているため、誠に困っている。女性研究者支援の縮小も痛手が大きい。日本での次世代の教育と科学技術のあり方を考え、人をどのように育てるか取り組むことは、党派を超えた重要課題である。
- ・全国大学高専教職員組合（全大教）竹中さん
行政刷新会議の国立大のあり方の見直しでは「学問の自由」の精神に基づいていない。2009年12月1日の全大教の声明（配布資料⑪）を参照されたい。特別研究費の縮減は、特に地方大学にとって大きな痛手である。運営交付金の教育研究費相当分の事も重要だ。
- ・京都大学M2
大学院生で、研究費と生活費が保証される制度が縮小されると、日本で研究者を志す者がいなくなる。「まず国外に出て武者修行をし、功なり名遂げて帰国すれば」という助言もあるが、今の若い研究者がこの現状において外国に出る際には、「日本なんかには帰るものか!」と言って出て行くであろう。若手研究者の将来を考えることは、日本の科学技術の将来を考えることである。
- ・大学非常勤教員の組合の方
大学非常勤教員の現状は、誠に深刻である。いくつもの大学を掛け持ちし、科研費に応募しても、採択にならず、既に5年という例もある。生活が厳しい上に、研究環境が劣悪である。失職の危険も大きい。このような先輩を見ている若い研究者は、何を思うであろうか？非常勤研究者にも、まなごしを向けてほしい。

新入会員

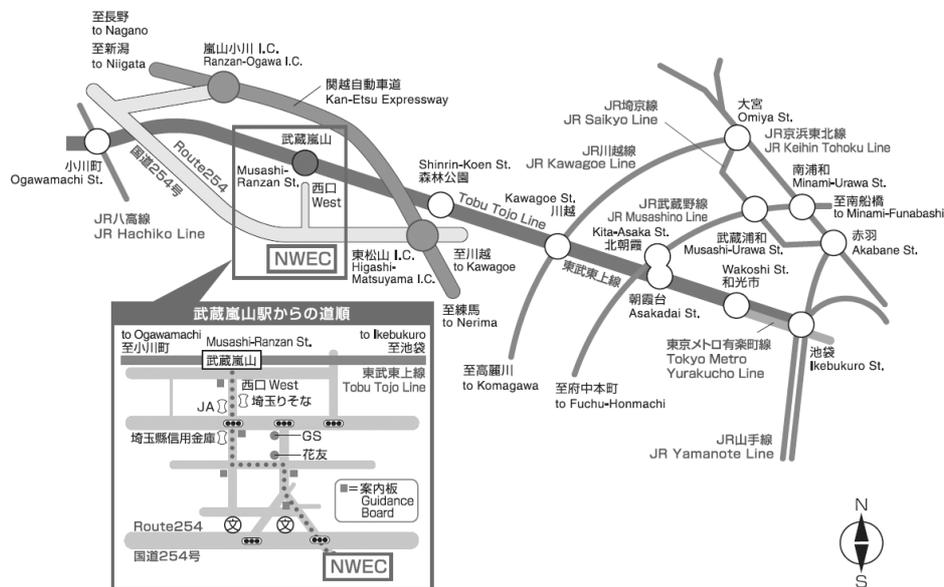
新入会員として次の方が入会されました（前号でお知らせするつもりが遅くなり申し訳ありません）。

小浜 正子（日本大学文理学部）
飯田 貴子（帝塚山学院大学）
黒田 慶子（森林総合研究所）

総会会場へのアクセス

【独立行政法人 国立女性教育会館】

■ 交通案内 / Access



- ・東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩で12分程度。ゆっくり歩いて15分程度です。
- ・武蔵嵐山駅へは
 - 1.池袋駅から東武東上線下り急行に乗り約60分
 - 2.小川町駅から東武東上線上り7分

☆ ☆ ☆

(この号は、東京学芸大学の直井が係りででした。)

連絡先：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）事務局
 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町 3-8
 専修大学法科大学院 岩井宜子
 Tel 03-3265-6917 Fax 03-3265-6962（研究室直通）
 E-mail : ths0494@isc.senshu-u.ac.jp
<http://jaicows.fc2web.com/>

事務センター：〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル
 株式会社ワールドプランニング
 Tel 03-5206-7431 Fax 03-5206-7757
 E-mail : world@med.email.ne.jp

郵便振替 口座番号 00100-8-542793